

記載のポイント

平成30年度むつ小川原地域・産業振興プロジェクト支援助成事業実施要望書

平成 29年 ○月 ○日

公益財団法人むつ小川原地域・産業振興財団理事長 殿

住 所

団体の名称

代表者の職・氏名

印

平成30年度むつ小川原地域・産業振興プロジェクト支援助成事業として、下記のとおり助成を要望します。

記

1 事業名 例：〇〇のブランドの構築に向けた商品開発と販路開拓事業
(事業の目的・内容が分かるような事業の名称を記載します。)

2 事業費 例： 950,530 円 (円単位で記載します。)

3 助成要望額 例： 660,000 円 (円単位で記載します。助成金の計算方法は、
募集要領を参考にしてください。)

4 担当者連絡先

項目	第1連絡先	第2連絡先
担当者氏名	財団太郎	財団花子
所属先(ある場合)	(公財)むつ小川原地域・産業振興財団
郵便番号・住所	〒030-0861 青森市長島二丁目10-4	〒.....
電話	017-773-6222
FAX	017-773-6245
E-mail	zaimo3s@jomon.ne.jp

<添付書類(添付を確認して、提出してください。)>

- 定款・規約等(役員・会員名簿含)、 団体の決算資料、 事業費の積算書、
 見積書、 その他参考資料

5 事業計画

<p>(1) 事業に取り組む背景</p>	<p>(これまでの取組や経緯、現状、課題)</p> <p>※ これまで団体で「取り組んできた状況」やこの事業に取り組むこととなった「経緯」、地域の実情や社会情勢の変化などの「現状」、どのような問題や影響があるのかなどの「課題」を整理して記載します。</p> <p>文章が長くなる場合は、この欄に概要を記載し、詳細について、別紙(様式自由)に取りまとめ添付してください。</p>
<p>(2) 事業の目的</p>	<p>(事業のねらいや目標、事業効果等)</p> <p>※ 実現したいことや、どのような状況にしたいのか、どのような状態を目指すのかなど事業のねらいを記載します。</p> <p>※ また、達成したい目標や事業を実施することによって、地域がどう変わるのか、どのような経済効果が期待されるのかなどを記載してください。</p>
<p>(3) 事業内容</p>	<p>※ 目的を達成するために、何を、どのように、どの程度行うのかを項目ごとに箇条書きで記載します。</p> <p>詳細な企画書や事業計画がある場合は、別紙(様式自由)に取りまとめ添付してください。</p> <p>【例】</p> <p>① ○○を活用した商品開発</p> <p>ア 加工技術修得研修(1回)</p> <p>△△加工センターで実施</p> <p>イ 商品の試作(随時)</p> <p>商品(3種類)の試作とパッケージの作成</p> <p>ウ 先進地視察(1回)</p> <p>○○の産地である□□県△△町を視察</p> <p>② 商品の販路開拓</p> <p>ア 試作品の市場性調査(10月・2回)</p> <p>県内及び東京で試食とアンケート調査</p> <p>イ 商談会への参加(2回)</p> <p>東京の百貨店等との商談会への参加</p> <p>③ ブランド化に向けた検討とPR活動</p> <p>ア 試作品、調査結果の検討会開催(3回)</p> <p>イ 商品お披露目会の開催(1回)</p>

(4) 事業実施場所	<p>※ 事業内容の項目ごとに実施する場所を記載します。</p> <p>【例】</p> <p>① ○○を活用した商品開発 □□市△△加工センター</p> <p>② 商品の販路開拓 県内スーパー、東京都の百貨店</p> <p>③ ブランド化に向けた検討とPR活動 □□市□□会館</p>												
(5) 事業実施方法	<p>① 直営か否か（委託、請負）の別 ※ 団体が自ら実施する（直営）のか、外部に委託して実施するのかを、具体的に記載します。</p> <p>【例】 パッケージの作成については、□□会社へ委託する。それ以外は直営で実施する。</p> <p>② 連携先（共催や後援、協力団体等の有無） ※ 他の団体等との共催や連携して実施する場合は、その内容も記載してください。</p> <p>【例】 商品の試作は、△△加工センターの協力を得て実施する。</p> <p>③事業スケジュール ※ 事業を実施する時期（月）を記入します。</p> <p>【例】</p> <table data-bbox="523 1462 1011 1765"> <tr> <td>5月</td> <td>加工技術修得研修</td> </tr> <tr> <td>6～9月</td> <td>商品の試作</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>先進地視察</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>試作品の市場調査</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>商品お披露目会の開催</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>商談会への参加</td> </tr> </table>	5月	加工技術修得研修	6～9月	商品の試作	8月	先進地視察	10月	試作品の市場調査	11月	商品お披露目会の開催	2月	商談会への参加
5月	加工技術修得研修												
6～9月	商品の試作												
8月	先進地視察												
10月	試作品の市場調査												
11月	商品お披露目会の開催												
2月	商談会への参加												

※ 事業内容が把握しやすいような参考資料（これまでの取組実績や企画書など）がある場合は必要に応じて添付してください。

6 事業費の内訳

(単位：円)

事業項目	金額	備考
① ○○を活用した商品開発	477,020	
② 商品の販路開拓	220,510	
③ ブランド化に向けた検討とPR活動	253,000	
合計	950,530	

※ 事業内容の項目ごとに記載すること。事業項目が多い場合は、行を追加してください。

7 財源の内訳

(単位：円)

負担区分	金額	内容	備考
財団助成金	660,000		
その他補助金	0	(補助金の名称)	(交付機関名)
事業収入	20,000	有料試食の売上げ	200人×@100円
自己負担	270,530		
その他	0		
合計	950,530		

<添付書類>

事業費の積算書

(単位：円)

事業項目	内容	数量等	金額	摘要
①○○を活用した商品開発			487,020	
ア 加工技術修得研修	研修会講師謝礼	5,900×1時間×1回	11,800	准教授級
イ 商品の試作	原材料	8,000×5回×3種	120,000	見積書①
	パッケージ作成委託	60,000×3種×1.08	194,400	見積書②
ウ 先進地視察	旅費(京都2泊3日)	75,410×2人	150,820	別紙計算書
	視察先への謝礼		10,000	
②商品の販路開拓			210,510	
	・・・	・・・	・・・	・・・
	・・・	・・・	・・・	・・・
③ ブランド化に向けた検討とPR活動			220,510	
	・・・	・・・	・・・	・・・
	・・・	・・・	・・・	・・・
合計			950,530	